

西川義昌先生講演会

基本歯科修復治療の技術的な基準とその根拠



近年の歯科臨床の進歩はめざましいかも知れませんが、しかしもう一度原点に立ち返り、基本的な修復治療とは何かを、できる限りわかりやすい形でお伝えしようと思います。

代々木上原デンタルオフィス 西川義昌

<ご挨拶>

大局に基づいて歯科の修復を考えてみると、2000年以降のここ10年で、西川先生が提唱された概念、技術が汎く一般歯科医療に取り入れられていることに気づきます。

ファイバーコアシステム
デンチンエナメライジング レストレーション
DGC (デントジンジバルコンプレックス)
Preparation for modern-conservative restration (NYグループを含む)
Biologically cosmetics restration
Crown-contouring Provisionalization
Standard Composite-resin Restration (明度充填法)
などなど、例をあげれば枚挙に暇がありません。

その西川義昌先生が所縁の地宮崎で、満を持して凱旋講演を行うこととなりました。
講演の一部を公開しますと次のようになります。

- ・前回の講演からいままでの間に蓄積されたノウハウ
- ・さらに研ぎ澄まされた選択眼で選び抜いた材料&器具
- ・クラウンの適応範囲をどんどん侵食しているコンポジットレジン修復 (発展型CR充填法)
- ・さらに進化をすすめたプロビジョナルレストレーションと形成のコンセプト&技術 etc

私自身もこれほどまとまった西川先生の講演は聴いたことがありません。
明日からの臨床のヒントの詰まったこの講演会にぜひご参加くださいますようお願い致します。

NMG形成会会長 中崎 裕 (中崎歯科医院院長)

<西川義昌先生の講演会を推薦させていただきます>

私の自慢ではありませんが、これまでにあらゆる歯科に関する講演会、勉強会に出席してまいりました。ためになったこともある反面なかには1年もしないうちに旬をすぎてしまった理論や技術もたくさんありました。そんな中、開業後自分が歩んできた道を検証してみることにしたのです。

いままで受講した勉強会等の資料ノートを引っ張り出して、学んだ理論、概念、フィロソフィー、技術、技能等を片っ端から羅列していきました。そして現在でもわたしのなかで生き続けているものに「生」とマーキングしていったところ、あることに気づきました。

「生」のうちの約50%が西川義昌先生から学んだことでした。以下の事項が私が西川氏から学び体に染み付いている「生」の一部です。

生物学的歯冠形成、8分の7冠、プロキシマルハーフクラウン、
Dento-Gingival Complex、ハイクレスト&ロークレスト、
ジルコニア&セラミックオンレー形成法、ダブルハンド圧排法、
3面形成法、パラタルアプローチ、診断用ワックスアップ法、
顎機能診断法、エンドポイントの設定、リスク診断と修復の関係、
ゴシックアーチ&チェックバイト同時採得法、クロスマウント法、
咬合器の選択および使用法、明度充填法、プロビジョナル活用法&調整法

以上を見返してわかることは、およそ歯医者として修復を行う上で普通に必要なことばかりです。しかし西川先生の凄いところは、昔から存在する歯科医として必要な「生」の部分を、古臭い物としてとらえるのではなく現代的センスをもって、新しいアングルから私たちに魅せてくれることにあります。すなわち歯科における「Modern Standard」といっても過言ではないでしょう。彼はいつも僕にいいます。「大切なことは何も変わっていない」と。

ただ彼のフィルターを通して見たものはなにかしら新しさを感じる。。みなさんもそんな西川先生の講演を聴き、新しい発見をしてみませんか。

NMG形成会宮崎支部長 小村光広（こむら歯科医院院長）

日付 2010年12月12日（日）

時間 午前10時から午後2時30分（30分の軽食時間を含む）

場所 宮崎日日新聞社 宮日ホール 宮崎市高千穂通り1-1-33

会費 歯科医 10,000円 その他 5,000円

問い合わせ先 中崎歯科医院 宮崎県児湯郡高鍋町北高鍋1024-1

電話(0983)23-0284 FAX (0983)23-0784

振込先 宮崎銀行宮崎支店 普通 21933 NMG形成会

お申し込みは0983-23-0784までFAXお願いします。

お名前

ご職業

受講票発送先

受講票発送住所